

医療情報システムのための医療知識基盤 データベース研究開発事業

平成22年8月

医政局政策医療課(山本要室長) [主担当]

1. 施策体系上の位置づけ

基本目標Ⅰ 安心・信頼してかけられる医療の確保と国民の健康づくりを推進すること

施策大目標3 利用者の視点に立った、効率的で安心かつ質の高い医療サービスの提供を促進すること

施策中目標3-1 医療情報化の体制整備の普及を推進する

2. 事業の概要

(1) 実施主体

医療分野のデータベースの充実を図ることができる民間企業等

(2) 概要

医療分野の情報化に伴い蓄積される医療情報には様々な表現で入力が行われているところであり、同じ意味でも多様な表現があることから統計処理が困難となっている。そのため、臨床研究や医療安全を推進する観点から、異なる表現であっても同一の意味する用語を一つの用語として整理できる電子辞書的なソフト開発を行うものである。

3. 事後評価の内容（必要性、有効性、効率性）

(1) 有効性の評価

相互に意味論理的に関係づけたオントロジによる医療知識基盤データベースを研究開発することにより、蓄積された医療データの解析可用性を飛躍的に向上させることが可能となる。

(2) 効率性の評価

諸外国のオントロジーデータベースを導入するには、①外国語から日本語への翻訳作業が生じること、②単なる日本語訳版では、意味概念や我が国の医療現場の慣例などに必ずしも合致しないことの問題がある。我が国独自のオントロジーデータベースの開発により、より我が国に沿った、効率的で利用性の高い医療知識基盤データベースとなっている。

(3) 政策等への反映の方向性

評価結果を踏まえ、平成23年度予算概算要求において、所要の予算を要求する。
 (概算要求額：161百万円)

4. 評価指標等

指標と目標値(達成水準/達成時期)		平成21年度までに完成				
アウトプット指標		H17	H18	H19	H20	H21
1		—	—	—	—	—
達成率		—%	—%	—%	—%	—%
【調査名・資料出所、備考等】 開発中機関であったために定量的評価は困難。						

5. 特記事項

(1) 各種計画等政府決定等の該当

① 有・無

② 具体的記載

「重点計画2006」(平成18年7月IT戦略本部決定)